

セイヨウオオマルハナバチに関する検討の進め方について（案）

平成 17 年 5 月

1 専門家会合における結論

野外における影響について十分な知見が得られていないため、この点に係る調査を重点的に実施する。

ネット展張等の逸出防止措置を農家等に対し普及啓発する。

これらの状況を踏まえつつ、1年程度を目途に指定について検討する。

2 検討の進め方

野外における影響の状況に係る調査、逸出防止技術の開発及び効果の検証を実施し、その成果をもとに検討を進める。主な調査内容は次のとおり。（別添資料参照）

- 分布の状況調査
- 営巣や採餌の競合関係（資源量の定量化、環境収容力の把握）に係る調査
- 種子繁殖への影響調査
- 野外での交雑の確認
- 効果的なネット展張方法の開発、ネット展張の効果の確認

農協、農家、業者等を対象に、小グループ等の検討状況、逸出防止措置の普及啓発を図る。

3 検討のスケジュール

- 5月13日 第5回小グループ会合（本日：検討の進め方の確認）
- 5月25日 第4回昆虫専門家グループ会合（第5回小グループ会合の報告）
- 6月 第4回特定外来生物等専門家会合
- 8月頃 第6回小グループ会合（調査の中間報告、普及啓発効果の確認）
- 11月頃 第7回小グループ会合（調査結果の確認、管理体制の検討）
- 第8回小グループ会合（とりまとめ）
- 第6回昆虫専門家グループ会合（小グループ会合報告の検討）